

I 沿革

1. 宇治のあゆみ

宇治橋架橋

「ウジ」には「三方を山に囲まれた地域」という意味があり、宇治の地名もその地形に由来すると説明されることがあります。また、大和からみて「ウチ」すなわち内側、古代において政権の所在地であった大和から、ここまでが勢力範囲内とされたためともいわれます。その時代、大和から北陸・東国へと通じるルートは、まず北へ山を越えて宇治・山科を経て、近江に抜けていました。大化2年（646）には早くも宇治川の渡河点に橋が架けられます。宇治が交通の要衝としてどれだけ重視されていたかがわかります。一時期、近江に都が移されると、宇治橋を警備する「橋守」が置かれたといわれています。

都のたつみ

延暦13年（794）に都が平安京、現在の京都に移されます。宇治は、新しい都とこれまで都があった大和との中間に位置することとなり、都の人々とくに政治や文化の担い手であった貴族たちは、別の角度から宇治を注目するようになります。風光明媚で温暖な地として、彼らはここを別業（別荘）を営む、リゾートとしたのです。喜撰法師が「我が庵は 都の巽 しかぞすむ 世を宇治山と人は言うなり」と歌に詠んだように、都の巽（南東）の方角にあって、当時の行程で半日と近く、ほど良い距離感にあるこの地は、貴族たちにとって都の喧騒や政争の疲れを癒す絶好の場所と映ったのでした。この地のまばゆいばかりの風光のなかで、川に船を浮かべて詩歌や管弦に興じたのでした。

なかでも、時の権勢を極めた藤原道長は、多くの貴族たちをひきつけて、ここに遊んだことが知られています。紫式部があらわした王朝文学の最高峰というべき『源氏物語』五十四帖の末尾に、宇治十帖が取り上げられたのも、道長の全盛期でした。紫式部は宮中で道長の娘である中宮彰子に仕えていました。後に、藤原頼通は父道長から引き継いだ別業を寺に改め、平等院とします。そこには、現在も残る阿弥陀堂をはじめとする様々な堂宇が建立され、人々を極楽の境地へと導いたのでした。また、藤原氏は地元の祭りであった宇治離宮祭のパトロンとなり、この頃より宇治白川を本拠地とした本座田楽が活躍し、田楽躍が大流行することとなったと言われています。

武士の世と宇治

平安貴族たちの権勢はいつまでも長くは続きませんでした。頼通以後、摂関家と天皇家やそれぞれの内部争い、また、両者を巻き込んだ政争は武士の活躍の場を広げ、やがて彼らの台頭を招くことになります。それは、建久3年（1192）の源頼朝による武家政権、いわゆる鎌倉幕府の成立として結実するのですが、その前後、宇治はいくたびかの合戦の舞台となります。

以仁王、源頼政らが平家打倒のため挙兵した際の宇治橋合戦、平家を都から追い落とした源義仲を攻撃する源義経軍による宇治川先陣争い、そして、京都公家政権に対する鎌倉幕府の優位を決定づけた承久の乱における再度の橋合戦と、京都をめぐる攻防に必ずといってよいほど宇治はその戦場となったのです。都と宇治との位置関係が、ここでも重要な意味を持っていたことがうかがえます。このような性格は、後の世にもひきつがれ、南北朝期の動乱や応仁・文明の乱の時代にもこの地はしばしば合戦の舞台となったのでした。

茶の町へ

この地で過ごす時間を生活の一部としてきた貴族たちの力が衰えをみせる、ちょうどそのころから、宇治には新たな生命力の兆しが芽生えます。ご承知の通り、それはお茶です。

中国、当時の宋から臨済宗を伝えた栄西は、同時に新しい喫茶法を持ち帰り、お茶を飲む風習がしだいに上流階級に広まりました。茶の栽培は各地ではじまり、宇治には栴尾高山寺の中興明恵によって栽培法が伝えられたといわれます。南北朝時代までは、その栴尾産が最上級の茶「本茶」としてもてはやされ、他の産地の茶を寄せ付けない状況にありました。そのなかで、宇治は茶産地として急速に成長し、室町時代には栴尾を凌駕するようになります。

安土・桃山時代から江戸時代のはじめにかけて、「茶の湯」は最盛期を迎えます。織田信長、豊臣秀吉と二代の天下人に仕えた茶頭千利休がしばしばこの地を訪れたのをはじめ、全国の大名家たちも競ってより良い茶を求めて宇治茶師たちのもとへ注文を寄せました。その後も、御茶壺道中の名で知られるように幕府徳川家への茶の納入をはじめ、諸国の大名と茶師たちの関係は江戸時代を通じて続きます。

やがて喫茶の習慣は、町人や農民など一般の人々にも普及していきました。江戸時代中期の煎茶製法の改良、幕末期の玉露の創始など、茶産地の人々の努力とあいまって「宇治」の名は茶の全国的ブランドとして確立していくのでした。

住宅の町、文化の町へ

近代にはいると、明治29年（1896）の奈良鉄道（現在のJR奈良線）の開通をかわきりに、京阪電鉄宇治線、奈良電鉄（現在の近鉄京都線）と、現在の宇治市域にも鉄道という近代的な交通機関が乗り入れます。また、五ヶ庄の陸軍省火薬製造所や宇治川を利用した水力発電所、化学繊維工場といった軍事・工業施設も進出してはきますが、茶の集散地宇治の町を中心に、茶を主作物とする農山村がひろがる状況に大きな変化は見られませんでした。それは、昭和26年（1951）に2町3村が合併して宇治市となっても同様でした。しかし、昭和40年代を中心とした高度成長期の住宅開発は、この地域の様子を一変させました。丘陵部はもちろん茶園をはじめとする田畑が造成され、またたく間に住宅地へと変わったのです。当時の変貌ぶりは、まさに宇治の歴史はじまって以来とって過言ではありません。やがて急激な変化の時代は終わりを告げ、いま街は成熟へと歩みはじめています。平等院阿弥陀堂など平安時代の建造物が今に伝わり、『源氏物語』「宇治十帖」の舞台であることから、平成元年（1989）にふるさと創生事業として紫式部文学賞・市民文化賞を制定したことを契機として、王朝文化の一端にふれることができる源氏物語ゆかりのまちとして整備が進められました。このような動きを後押しするように、平成6年（1994）には平等院と宇治上神社が、「古都京都の文化財」の一部としてユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の制定する「世界遺産」に登録され、その2年後には宇治橋が架け替わり、装いと利便性を一新しました。また平成10年（1998）には源氏物語ミュージアムも開館し、宇治川畔のそこかしこにたたずむ史跡や風光ととけあって、訪れる人々を魅了しつづけているのです。

2. 市の沿革

郡名	旧 町 村 名 (明治12年)	明治22. 4. 1 現在	明治22. 4. 1～ 昭和22. 5. 3		昭和 22. 5. 3 現在	昭和 22. 5. 3～ 昭和 32. 4. 1	昭和 32. 4. 1 以降
宇 治 郡	五条・上野・御陵・日岡・厨子 奥・竹鼻・四宮・小山・音羽・茶 屋町・八軒町・大塚・西野・東 野・北花山・大宅・榊江・上花 山・川田・勧修寺・西野山・栗栖 野・小野	山科村	山科町 大正 15. 10. 16 町制施行	京都市 昭和6. 4. 1 編入合併	京 都 市		
	醍醐村・日野村・石田村・北小栗 巣村・南小栗巣村	醍醐村					
	五ヶ庄村・木幡村・菟道村・志津 川村・六地藏村	宇治村		東宇治町 昭和 17. 4. 1 編入合併 町制施行 名称変更	東宇治町	宇治市 昭和26. 3. 1 新設合併	宇治市
	東笠取村・西笠取村・炭山村・二 尾村・池尾村	笠取村					
久 世 郡	宇治町・宇治郷・白川村	宇治町			宇治町		
	槇島村	槇島村			槇島村		
	小倉村・伊勢田村・安田村	小倉村			小倉村		
	大久保村・広野村	大久保村			大久保村		
	市田村・田井村・佐山村・佐古 村・林村・下津屋村	佐山村			佐山村	久御山町 昭和 29. 10. 1 新設合併	久御山町
	御牧村	御牧村			御牧村		
	久世村・平川村・上津屋村	久津川村			久津川村	城陽町 昭和26. 4. 1 新設合併	城陽市 昭和 47. 5. 3
	寺田屋・水主村（綴）	寺田村			寺田村		
	富野荘・枇杷荘村・観音堂	富野荘村			富野荘村		
	(綴喜郡) { 奈島村 市辺村 中村（久）	(綴喜郡) 青谷村			(綴喜郡) 青谷村		
	淀池上町・淀新町・淀下津町	淀町	淀 町 昭和 10. 4. 1 編入合併	淀 町 昭和 11. 2. 11 編入合併	淀 町	京都市 昭和32. 4. 1 編入合併	京都市
	(綴喜郡) { 美豆村 際目町 生津町	(綴喜郡) 美豆村					
	(乙訓郡) { 樋爪村 水垂村（紀） 大下津（紀）	(乙訓郡) 淀村					

3. 市政主要年譜

年 月	西 暦	主 要 事 項
昭和26年 3月	1951	宇治市制施行（久世郡宇治町、槇島村、小倉村、大久保村・宇治郡東宇治町の2町3村が合併し、市役所を旧宇治町役場に置く）
4月		小倉双葉園保育所開所 市長及び市議会議員選挙執行 初代市長山崎平次氏就任
12月		宇治市広報紙「市政だより」第1号発刊
27年 2月	1952	宇治商工会議所設立
3月		宇治川東地区水道供給開始
7月		宇治市森林組合設立
8月		宇治市消防本部設置
10月		宇治市教育委員会委員選挙執行
28年 1月	1953	平等院鳳凰堂を凶案化した10円硬貨発行
3月		浮島十三重石塔重要文化財指定
4月		菟道第二小学校開校
8月		南山城水害により隠元橋流失
9月		台風13号による風水害のため災害救助法発動、被害総額21億円に達する
29年 6月	1954	宇治市警察署廃庁（開庁後6年4か月）
7月		宇治市消防署設置 京都府警察本部宇治警察署開署
11月		第2代市長池本甚四郎氏就任
30年 2月	1955	し尿収集実施
4月		宇治保育所開所
12月		市営結婚式発足
31年 1月	1956	自動車によるごみ収集の機動化実施
4月		宇治市城陽町組合立久世中学校廃校、西宇治中学校開校
5月		地方財政再建特別措置法による自主再建団体となる
12月		隠元橋復旧（鉄筋コンクリート近代橋）完成
32年 2月	1957	陸上自衛隊大久保駐屯地開設
11月		市営茶室対鳳庵開設
33年 8月	1958	神明浄水場給水開始
9月		失業対策事業開始
11月		第3代市長新庄義信氏就任
34年 4月	1959	福祉年金制度発足
8月		8・13災害豪雨により災害救助法発動
9月		台風15号による風水害のため災害救助法発動
35年 1月	1960	文書の左横書き実施
3月		久世谷林道・笠取相月線林道完成
5月		炭山林道完成

年 月	西 暦	主 要 事 項
昭和35年 12月	1960	「世界連邦平和都市宣言」市議会決議
36年 3月	1961	白川共同製茶場完成
4月		市制施行 10 周年記念式典開催 宇治市国民健康保険事業開始 国鉄黄檗駅開業
5月		自主財政再建 5 か年計画完了
7月		宇治・木幡局の合併により自動式電話に切り替え 大久保小学校校舎移転
9月		第 2 室戸台風による風水害のため災害救助法発動、被害総額 20 億円に達する
10月		10. 28 水害により災害救助法発動
37年 7月	1962	宇治市外 4 町し尿処理組合発足
8月		宇治市平和都市推進協議会結成
11月		第 4 代市長新庄義信氏（再選）就任
38年 4月	1963	燃えるごみ・燃えないごみ分別収集実施
5月		宇治市開発公社設立
9月		宇治市防災会議発足
10月		新庁舎完成
39年 5月	1964	宇治橋改修工事完成（鋼板製着色高欄に取替え）
8月		宇治市外 4 町し尿処理組合し尿処理場完成
9月		東京オリンピック聖火リレー宇治市通過
11月		天ヶ瀬ダム竣工 府営山城浄水場完成 宇治市外 4 町し尿処理組合を城南衛生管理組合に改称
40年 4月	1965	大久保幼稚園開園
9月		宇治市観光案内所新築移転 台風 24 号水害により災害救助法発動 宇治市民会館完成、図書室併設
41年 5月	1966	木幡保育所開所
8月		平和の像除幕式
9月		菟道小学校校舎新築移転
10月		黄檗運動公園野球場完成
11月		第 5 代市長に新庄義信氏（3 選）就任
42年 4月	1967	木幡小学校開校
6月		宇治市体育協会発足 宇治市交通災害共済制度発足
9月		宇治市都市計画用途地域指定
10月		府下身体障害者福祉大会開催 黄檗運動公園庭球場完成
43年 7月	1968	黄檗運動公園プール完成 近畿都市統計協議会第 17 回総会本市開催

年 月	西 暦	主 要 事 項
昭和43年 8月	1968	宇治市住宅地造成指導要綱実施 燃えるごみ等の曜日収集実施 炭山陶芸団地完成
9月		槇島小学校・槇島幼稚園新築移転
44年 3月	1969	木幡池大島樋門完成
4月		神明幼稚園開園 西小倉小学校開校 交通遺児見舞金、激励金支給制度実施
5月		立場線林道完成
10月		自動車移動文庫そよかぜ号巡回開始 消防本部（署）庁舎完成
45年 1月	1970	喜撰山揚水ダム発電所竣工
3月		宇治市民憲章・宇治市歌制定
4月		人口10万人突破 宇治市児童手当制度新設 西大久保小学校開校
5月		東宇治消防出張所開所
6月		騒音規制地域に指定 西小倉保育所開所
7月		市史編さん委員会発足
8月		宇治市同和対策審議会発足
9月		東宇治幼稚園新築移転
11月		第6代市長田川熊雄氏就任
46年 2月	1971	宇治市公害対策審議会発足
3月		東宇治中学校笠取分校廃校
4月		南部小学校開校 大久保保育所開所
5月		市制施行20周年記念式典開催
8月		京都府宇治総合庁舎新築移転（茶業研究所跡）
10月		市民相談室設置
11月		粗大ごみ処分地開設（池尾千郷山）
47年 4月	1972	神明小学校・北宇治中学校開校 伊勢田幼稚園開園 槇島保育所開所 市政モニター制度設置
6月		朝霧橋開通
8月		金井戸養鶏団地開設 宇治市社会福祉協議会、社会福祉法人認可
10月		ハシゴ付消防車配備
11月		第1回宇治市技能功労者表彰
48年 1月	1973	宇治市史第1巻発刊

年 月	西 暦	主 要 事 項
昭和48年 2月	1973	宇治市総合計画審議会発足
4月		北小倉保育所開所 北小倉小学校・御蔵山小学校開校 財団法人山城学校建設公社発足 国道24号線大久保バイパス開通
5月		宇治地区労働者福祉協議会発足
6月		消費生活モニター制度実施
8月		西宇治公園プール開設 きこえの教室神明小学校に開設
11月		宇治市体育協会、財団法人認可
12月		優良農地に営農助成金制度創設
49年 2月	1974	国鉄奈良線複線電化促進住民共闘会議結成
3月		国鉄宇治駅貨物扱い廃止
4月		第7代市長渡辺博氏就任 伊勢田小学校・岡屋小学校・木幡中学校・府立東宇治高等学校開校
6月		宇治市土地開発公社設立
7月		70歳以上の老人全員に医療費助成
8月		市民生活防衛対策会議発足
10月		北木幡保育所開所
11月		重度心身障害者（児）、母子家庭児の医療助成制度発足
50年 2月	1975	市政だより月3回発行実施
3月		宇治養護老人ホーム明星園開園 宇治市総合計画策定
4月		平盛小学校・三室戸小学校開校 宇治市選挙公報発行 心身障害児通園施設開園（宇治福祉園） 府営西大久保団地入居開始
5月		宇治市内職センター完成
7月		「草刈り条例（宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例）」施行
8月		宇治保育所新築移転
10月		宇治市小規模開発指導要綱実施
12月		防火・準防火地域指定
51年 3月	1976	都市計画道路宇治橋若森線全線開通
4月		善法保育所開所。木幡幼稚園開園 大開小学校・南宇治中学校開校 近畿市議会議長会開催
5月		折居川分水路工事完了
6月		宇治市環境保全条例制定
10月		京滋バイパス環境対策協議会発足 善法隣保館開館
11月		第7代市長渡辺博氏死去、市公葬挙行

年 月	西 暦	主 要 事 項
昭和51年 12月	1976	第8代市長島田正夫氏就任
52年 3月	1977	宇治市土地開発規制条例制定 市制施行25周年記念式典開催
4月		府立西宇治高等学校開校 宇治市医療問題懇談会発足
7月		財団法人宇治廃棄物処理公社発足
9月		笠取地域の電話が普通加入区域に編入
10月		清掃問題懇談会、環境保全審議会発足 市旗制定
11月		水道事業懇談会発足
12月		燃えるごみ週2回収集実施
53年 1月	1978	財政自主再建計画策定 木幡河原共同作業所開所 宇治高齢者事業団設立
4月		南小倉小学校・西小倉中学校開校 「ことばの教室」伊勢田小学校に開設
5月		宇治心身障害者共同作業所開設 木幡河原隣保館開館
6月		宇治廃棄物処理公社廃棄物埋立処分地開設
12月		宇治市建築協定条例制定
54年 7月	1979	燃えないごみの月2回収集実施
8月		宇治市少年少女合唱団結成 宇治市休日急病診療所・保健医療センター開設 人口15万人突破
11月		京都南部都市広域行政圏推進協議会設立
55年 2月	1980	平盛幼稚園開園
3月		京都南部都市広域行政圏計画策定 70歳以上の老人を対象に敬老祝金制度発足
12月		第9代市長池本正夫氏就任
56年 3月	1981	市制施行30周年記念式典開催 市の木（もみじ）、市の花（やまぶき）、市の宝木（茶）制定
4月		財政自主再建達成
5月		木幡公民館完成
7月		宇治市斎場問題懇談会発足
9月		小倉公民館完成
10月		市民文化センター建設懇談会発足
12月		宇治市広報紙発行30周年
57年 2月	1982	青少年宇治こころの電話開設
4月		槇島中学校開校 消防署西小倉分署完成
5月		宇治市観光センター完成
8月		消防本部緊急システム導入

年 月		西 暦	主 要 事 項
昭和57年	12月	1982	水道部新庁舎完成
58年	1月	1983	総合福祉会館開館
	4月		北檜島小学校開校
	5月		市制30年誌発行
			市内で集団赤痢発生
	7月		市民文化センター・京都国体準備室新設
			木幡緑道完成
	9月		宇治市史年表発刊
	10月		乳がん検診実施
	12月		宇治市火災共済制度発足
59年	4月	1984	宇治市斎場完成
			広野中学校開校
			笠取小学校・笠取第二小学校新築移転
	5月		宇治塔川の喜撰橋架替工事完了
	6月		在宅障害者デイサービス事業開始
	10月		国鉄奈良線電化開業
			宇治市文化センター開館
			笠取簡易水道完成
	11月		筒型乾電池分別回収開始
			重度障害者に福祉タクシー事業開始
	12月		第10代市長池本正夫氏(再選) 就任
60年	4月	1985	府立菟道高等学校開校
			西小倉地区社会福祉協議会発足
	6月		善法青少年センター開館
	7月		宇治市シルバー人材センター開設
			宇治市行政改革審議会発足
	12月		城南衛生管理組合第2清掃工場火入れ式
61年	1月	1986	宇治市スポーツ賞創設
	3月		市制施行35周年記念式典開催
			宇治市第2次総合計画策定
	4月		スリランカ・ヌワエリヤ市と友好都市盟約を締結
			宇治市行政改革大綱策定
	5月		広野公民館開館
	7月		東宇治浄化センター通水式挙行
			中国・咸陽市と友好都市協定を締結
	10月		黄檗ふれあい公園運動場開設
	11月		西宇治地域から山城総合運動公園へ路線バス運行
62年	3月	1987	宇治市国際親善協会発足
	4月		在宅ねたきり老人デイケア事業実施
			宇治市産業会館開館
			肺がん検診実施
	5月		京滋バイパス宇治トンネル全面開通

年 月	西 暦	主 要 事 項
昭和62年 6月	1987	善法地区老人福祉センター開所
8月		市街化区域が国土利用計画法に基づき監視区域に指定
7月		中央図書館に行政資料コーナー開設
10月		「核兵器廃絶平和都市宣言」市議会決議
		河原青少年センター開設
		近鉄大久保駅高架化完成
12月		槇島・伊勢田・平盛ふれあいセンター、大久保青少年センター開設
63年 1月	1988	菟道ふれあいセンター開設
3月		宇治公共職業安定所が宇治池森に移転開所
4月		天ヶ瀬森林公園開園
		小倉行政サービスコーナー開設
5月		西小倉コミュニティセンター開設
7月		財団法人宇治市公園公社設立
		黄檗体育館完成
		平和の像除幕式
		京滋バイパス供用開始
9月		都市計画道路城陽宇治線供用開始
		第43回国民体育大会・京都国体夏季大会（水泳競技）開催
10月		同・秋季大会（サッカー・ソフトボール・馬術競技）開催
11月		西消防署槇島消防分署開設
		木幡行政サービスコーナー開設
12月		第11代市長池本正夫氏（3選）就任
平成元年 4月	1989	第2次宇治市行政改革審議会発足
8月		市街化区域が国土利用計画法「監視区域」に指定
9月		ふるさと創生事業として紫式部文学賞創設決定
10月		府民祭典・アンコール国体開催
2年 3月	1990	市の鳥（カワセミ）制定
4月		宇治市教育研究所開設
		明星園にデイサービスセンター設置
		燃えないごみ月3回収集実施
7月		カナダ・カムループス市と友好都市盟約を締結
9月		紫式部文学賞・紫式部市民文化賞制定
3年 3月	1991	市制施行40周年記念式典開催
		宇治市第3次総合計画策定
4月		第2・4土曜日閉庁実施
5月		第42回全国植樹祭「京都みどりの祭典」開催
11月		第1回紫式部文学賞・市民文化賞受賞式開催
4年 2月	1992	宇治市行政改革審議会最終答申
4月		笠取山の家開所
		財団法人宇治市霊園公社設立
5月		市役所新庁舎完成

年 月	西 暦	主 要 事 項
平成4年 7月	1992	明星園に在宅介護支援センター開設
10月		J R 六地蔵駅開業
11月		東宇治コミュニティセンター開設
		東宇治図書館開館
12月		第12代市長池本正夫氏（4選）就任
5年 3月	1993	第2次行政改革大綱策定
4月		市営茶室「対鳳庵」建て替え完成
		木幡地域福祉センター開設
6月		志津川バイパス開通
9月		完全土曜閉庁実施
		南宇治行政サービスコーナー開設
10月		全国健康福祉祭「ねんりんピック'93」開催
6年 1月	1994	生涯学習センター開館
4月		燃えないごみ週1回収集実施
		開地域福祉センター開設
5月		老人保健福祉計画策定
7月		槇島行政サービスコーナー開設
12月		宇治上神社、平等院を含む「古都京都の文化財」がユネスコ世界遺産に登録決定
7年 3月	1995	財団法人宇治市駐輪場公社発足
4月		小倉デイサービスセンター開所（学校の空き教室の老人施設転用）
5月		東宇治行政サービスコーナー開設
		第3次宇治市行政改革審議会発足
8月		近鉄伊勢田駅地下駅舎完成
9月		コミュニティFM放送「FMうじ」開局
8年 3月	1996	市制施行45周年記念式典開催
		新宇治橋開通
4月		二子塚古墳公園開園
		南宇治コミュニティセンター開設
		平盛デイサービスセンター（学校の空き教室の老人福祉施設転用）
5月		都市計画新用途地域設定
6月		開行政サービスコーナー開設
7月		病原性大腸菌O-157罹患者発生
		地域防災計画「緊急対策指針」作成
		巡回型ホームヘルプサービス試行開始
10月		植物公園開園
		都市計画道路下居大久保線開通
12月		第13代市長久保田勇氏就任
9年 3月	1997	財団法人福祉サービス公社設立
4月		容器包装リサイクル法によるごみ分別収集開始
		炭山地区への浄水開始
6月		西小倉地域福祉センター・西宇治図書館開設

年 月	西 暦	主 要 事 項
平成9年 7月	1997	志津川浄化センター完成
8月		全国高等学校総合体育大会（京都総体）開催
10月		第3次行政改革審議会答申
11月		地方自治法施行50周年記念自治大臣表彰受賞
10年 4月	1998	情報公開条例施行
		東宇治地域福祉センター開設
5月		第3次行政改革大綱策定
11月		源氏物語ミュージアム開館
11年 4月	1999	西宇治体育館開館
6月		総合野外活動センター「アクトパル宇治」開所
		白川林道開通
8月		西宇治中学校地域開放型校舎完成
11月		槇島コミュニティセンター開設
12年 4月	2000	環境美化推進条例施行
		広野地域福祉センター開設
7月		2000円札発行記念イベント開催（那覇市）
8月		J R宇治駅新駅舎開業
12月		第14代市長久保田勇氏（再選）就任
13年 3月	2001	市制施行50周年記念式典開催
		J R小倉駅開業・J R奈良線複線化（京都～J R藤森、宇治～新田間）
		第4次総合計画策定
4月		家電リサイクル法施行
7月		府営宇治浄水場導水管破損事故（断水事故）
9月		庁舎北側二層式駐車場完成
11月		第4次行政改革審議会発足
14年 2月	2002	I S O 1 4 0 0 1 認証取得
3月		宇治市都市景観条例制定
8月		住民基本台帳ネットワーク第1次利用開始
10月		第4次行政改革審議会答申
15年 4月	2003	第4次行政改革大綱策定
		J R宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」オープン
8月		住民基本台帳ネットワーク第2次利用開始
11月		保健・消防センター「うじ安心館」完成
16年 4月	2004	宇治槇島線一部開通（府道宇治小倉停車場線まで）
11月		黄檗山手線供用開始
		京都市高速鉄道東西線六地藏駅供用開始
12月		第15代市長久保田勇氏（3選）就任
17年 4月	2005	産業振興センター・宇治ベンチャー企業育成工場竣工
18年 3月	2006	市制施行55周年記念式典開催
19年 5月	2007	第5次行政改革審議会発足
11月		第5次行政改革審議会答申
12月		大久保小学校新校舎完成

年 月	西 暦	主 要 事 項
平成20年	2008	源氏物語千年紀
2月		第5次行政改革大綱策定
9月		源氏物語ミュージアムリニューアル
12月		第16代市長久保田勇氏（4選）就任
21年 4月	2009	京都府立城南菱創高等学校開校
7月		宇治川太閤堤跡が国の史跡に指定
22年 2月	2010	京都文教大学・京都文教短期大学と連携協力に関する協定を締結
4月		京都地方税機構、本格実施
		宇治市政だより、宇治市ホームページリニューアル
6月		アクトパル宇治にグラウンドゴルフ場オープン
23年 3月	2011	市制施行60周年記念式典開催
		第5次総合計画策定
10月		宇治槇島線全線開通
		京都国民文化祭開催
11月		福井県越前市と都市連携協定書及び災害時相互応援に関する覚書を締結
		山口県宇部市と災害時相互応援協定を締結
24年 2月	2012	沖縄県那覇市と災害時の応援に関する協定を締結
4月		小中一貫教育を全面实施
		黄檗中学校を新設開校
		※宇治小学校と共に、本市初の小中一貫校「宇治黄檗学園」開校
8月		京都府南部地域豪雨災害
12月		第17代市長山本正氏就任
25年 9月	2013	台風18号災害
		第6次行政改革大綱策定
		「ちはや姫」を宇治市宣伝大使に任命
26年 3月	2014	教育振興基本計画策定
4月		暴力団排除条例施行
6月		東京都小金井市と災害時相互応援協定を締結
10月		宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例施行
11月		京都大学宇治キャンパスと包括連携協定を締結
27年 3月	2015	「認知症のひとにやさしいまち・うじ」を宣言
		大久保保育所建て替え完成
4月		西消防署伊勢田救急出張所完成
		「日本茶800年の歴史散歩」が日本遺産に認定
12月		宇治市人口ビジョン宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
12月		京都市・宇治市による観光振興と安心安全に関する連携協定を締結
28年 3月	2016	市制施行65周年記念式典開催
8月		都市計画道路宇治淀線（新宇治淀線）開通
		安全・安心にかかる宇治警察署、久御山町との連携協定を締結
9月		株式会社京都銀行と地方創生に関する包括連携協定を締結
10月		宇治市・日本下水道事業団災害支援協定を締結

年 月	西 暦	主 要 事 項
平成28年 12月	2016	第18代市長山本正氏（再選）就任
29年 2月	2017	追手門学院大学と観光振興に関する協定を締結
4月		「お茶の京都博」がスタート
8月		京阪宇治駅観光案内所の開所
9月		京都中央信用金庫と地方創生に関する包括連携協定を締結
		宇治市公共施設等総合管理計画策定
12月		宇治市手話言語条例制定
30年 2月	2018	第7次行政改革大綱策定
		宇治市内郵便局と地方創生に関する包括連携協定を締結
3月		京都信用金庫と地方創生に関する包括連携協定を締結
		京都認知症総合センター開設
5月		JR新田駅東口改札・駅前広場の供用開始
6月		あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結
		京都府立大学と包括連携協定を締結
		ソフトバンク株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結
9月		源氏物語ミュージアムリニューアル
10月		宇治古墳群が国の史跡に指定
		宇治山が国の名勝に指定
31年 3月	2019	宇治市シルバー人材センター及び宇治高齢者事業団と空き家等の適正管理の推進に関する協定を締結
		空き家等対策計画策定
		第3次ごみ処理基本計画策定
4月		富士ゼロックス京都株式会社と地方創生及びSDGsに関する包括連携協定を締結
令和元年 6月		産業支援拠点宇治NEXTの開設
9月		食品の輸出機会の創出を図ることを目的に、umamill株式会社と輸出事業連携に関する協定を締結
10月		西宇治地域（伊勢田こども園）に市内10箇所目の地域子育て支援拠点を開設
2年 3月	2020	第2期宇治市人口ビジョン宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
		京都府宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会京都府本部と宇治市における空き家等の対策に関する協定を締結
7月		大塚製薬株式会社京都支店と地方創生に関する包括連携協定を締結
10月		大阪ガス株式会社と災害時における活動拠点の使用に関する協定を締結
11月		三井住友海上火災保険株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結
12月		第19代市長松村淳子氏就任
3年 3月	2021	市政施行70周年
		電子図書館開始
4月		宇治市公共下水道事業経営戦略策定、水道事業ビジョン・経営戦略策定
5月		第5次UJIあさぎりプラン策定
		宇治市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定
8月		お茶と宇治のまち歴史公園開園（10/1 グランドオープン）
10月		宇治市国際交流協会と「災害時における外国人支援に関する協定」を締結
11月		JR宇治駅前観光案内所リニューアルオープン

年 月	西 暦	主 要 事 項
令和4年1月	2022	リコージャパン株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結
2月		第8次行政改革大綱策定
		株式会社セブン-イレブン・ジャパンと地方創生に関する 包括連携協定を締結
3月		第6次総合計画策定
		富国生命保険相互会社京都支社と地方創生に関する 包括連携協定を締結
4月		宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画策定
		第2次宇治市教育振興基本計画策定
5月		宇治市都市計画マスタープラン策定